

YOUNG BLOOD

共につき進もう ～全国の仲間と明るい未来へ～

発行責任者：JR連合 青年・女性委員会 議長 沖畠 裕章 編集責任者：幹事 角 衣里香

第21回青年女性役員研修会への参画

2022年12月16～17日、連合会館（東京都千代田区）において、「第21回青年女性役員研修会」を開催し、幹事会・地方協議会（以下、地協）より総勢35名の受講生が参加しました！

1日目 講義・航空連合との意見交換

講義①「JR連合の政策活動について」 講師：森安祐貴 産業政策局長（JR四国労組出身）

JR産業の直近の動向や重要政策課題、2023年度税制改正要望項目について講義があり、いかに予断を許さない状況であるか改めて理解する場となりました。

講義②「JR連合の組織・政治課題について」 講師：相良夏樹 組織局長（JR東海ユニオン出身）

企業労使間では扱えない課題を「政治」「行政」に働きかけ、解決を図る取り組みは労組活動として特別なものではなく、政治のみならず、地域とのつながりにおいても人間関係が第一であり、理解者をつくるために汗をかき、信頼関係を築くためボランティアや対面での意見集約などの活動を行っている、という話には役員から組合員へ対する活動に通ずるものがありました。

航空連合との意見交換

3産別共同行動で連携を図っている航空連合より7名の役員の方にご参加いただき、取り組み内容や取り巻く環境、活動にあたっての悩みについてディスカッションを行いました。業種は違えど、組合活動に対する課題は共通するものがあり、有意義な意見交換・課題共有をすることができました。

2日目 特別講演・グループディスカッション

特別講義 講師：荻山市朗 会長（JR西労組出身）

JR連合結成30周年について、JR入社のきっかけや、当時のリアルな話を聞き、我々の基盤は『“安全”であること』、『地域とのつながりがこれからはより重要になること』、『視野を広げること』、『世の中への変化に対応していくこと』の重要性を学びました。

グループディスカッション

「青年女性役員としての役割とは」というお題について活発にディスカッションし、長く働き続けられる魅力ある産業にするために、産別を超えて協力すること、地域に根差した経営をすること、役員として活動を積極的に発信すること、自ら行動することなどの意見が出ました。

研修を通して、新たな繋がりもでき、産別・単組を超えた横の繋がりを強化することができました！



各種 SNS を開設しています！

アクセスしてね♪

